

# 一般社団法人 藤野観光協会通信

神奈川県相模原市緑区小渕 2000 番地 藤野総合事務所 4 階 TEL042-684-9503 http://info-fujino.com

発行日  
2024年  
1月  
Vol.17



## 台湾桃園市大溪地区との交流イベント報告



昨年11月4日・5日の2日間、台湾桃園市の大溪地区というところで開催された、「大溪工芸週間」というイベントに参加してきました。「木芸博物館」の敷地内にたくさんのブースが並べられ、工芸品はもとよりクラフト製品、雑貨類、食品などが出品され、いくつかのワークショップも開催されました。藤野地区も一つのブースをいただいて、藤野在住の10人のアーティストの作品とゆず製品など藤野の特産品を展示・販売しました。

大溪と藤野には共通している点が少なくありません。大溪は台北まで、藤野は東京まで、ともに1時間ちょっとで行ける立地にあり、かつ自然が豊かであること、そして多くのアーティストが居住し、活動拠点としていることです。そうしたことがあり、また大溪と藤野をつなぐことに尽力される方々もいて、5年ほど前から交流が続いていました。そして昨年3月には「ふじのね」ミニギャラリー特別企画として「大溪×藤野～日台交流企画展」を開催していただいた実績もあります（本誌第16号で紹介）。今回は藤野から大溪に出向くことができました。

当日は休日、天気が良かったこともあって、家族連れ、仲間同士、カップルと思い思いに連れ立つてブースを巡っていました。藤野のブースにもたくさんの方がやって来て下さり、食品類は1日目でほぼ完売、アート作品にも興味・関心を持っていただき、売り上げは当初の予想をはるかに上回る額になりました。

台湾の方の親日意識の高さはよく言われることですが、実際に台湾のごく普通の人たちに触れているとその感をますます強くしました。皆さん、「日本から来たのか」と気さくに声をかけてくださいました。なかには展示物の配列を手伝ってくださる方、お昼と一緒に食べようと誘ってくださる方、「今度日本に行く時は訪ねていくから」と言ってくださる方もいました。日台の交流にも多少なりと貢献できたかに思います。

大溪と藤野、姉妹都市のような行政主導の国際交流とは一味違った民間レベルでの交流がしっかりとできてきてているように思います。国と国との関係には様々な問題がおこりうるとは思いますが、ごくごく普通の市民同士の草の根の交流がそのベースにあることがとても大切だと思います。大溪と藤野の試みがそんな交流の一つになっていってほしいと切に願っています。



## 「ふじのね」より

藤野観光案内所「ふじのね」は藤野の特産品やアーティストの作品等を取り揃えています。また、月替わりで地元在住のアーティストらの作品の展示・販売をしています。今後の予定は以下の通りです。駅周辺にお出かけの際など是非お立ち寄りください。

- |                                   |                          |
|-----------------------------------|--------------------------|
| 1月 加藤世紀「絵画展」                      | 6月 さとうあや「小さなきものたち展」(絵画)  |
| 2月 「藤野ライトハウス大感謝祭」(福袋・チョコレート)      | 7月 母袋信惠「野笛工房展・染織と藍染の作品展」 |
| 3月 篠原の里と仲間たち<br>「篠原地区の団体・作家の展示販売」 | 8月 二木好文「陶器展」             |
| 4月 内田松里「絵画・バンダナ展」                 |                          |
| 5月 佐藤純「Re・民具堂展／古材で作った作品展」         |                          |



## 事務局より

昨年12月に、藤野南小学校3年生が「芸術の道」にある野外環境彫刻群の学習をするということで、観光協会にガイドの依頼がありました。ガイドを引き受けるからにはそれなりの準備をしなければ、ということで可能な限り調べてみました。9名の子どもたちは、時にメモを取りながらとても熱心に聞いてくれました。発見もあったようです。未来のある子どもたちが、自分のふるさと藤野に関心をもってくれることはとても素晴らしいことです。観光協会もそんなことに協力していければと思います。



## 新年にあたって

一般社団法人藤野観光協会 代表理事 名久井孝昭

最初に、今回の能登半島地震でお亡くなりになられた方々のご冥福を心よりお祈りし、被災された皆さまにお見舞い申し上げるとともに、1日も早い復興をお祈りいたします。

新年あけましておめでとうございます。皆さま方におかれましては、お健やかに新春をお迎えの事と心からお喜び申し上げます。

さて昨年、新型コロナウィルス感染症が感染症法上の5類となり様々な規制が解除され、藤野地域でもさまざまなイベントが復活し、コロナ禍前の状況に戻りつつあります。

新たに迎えた令和6年は当協会が数年来実績を残している里山体験ツアー、移住・定住促進事業、観光案内所「ふじのね」の運営等々を、相模原市をはじめ各団体と連携して継続的に行い、「藤野」を情報発信し、更なる藤野の観光振興ならびに会員サポートに全力を傾注していきます。

皆さま方のご多幸をお祈り申し上げますとともに、皆様方の一層のご支援・ご協力をお願い申し上げまして、年始のご挨拶といたします。



## 藤野里山体験ツアー、広く認知されつつあります！

2015年以来続けています藤野里山体験ツアー、コロナ禍で開催を見送らざるを得ない時もありましたが、徐々に認知が広がりつつあります。昨年12月には神奈川県の土地水資源対策課が運営していますWebサイト「神奈川やまなみ五湖navi」にその概要が掲載されました。[https://www.suigen.jp/tourplanslist/sagami\\_huzinosatoyama](https://www.suigen.jp/tourplanslist/sagami_huzinosatoyama) QRコードでご覧いただけます。逗子市立池子小学校の子どもたちがツアーに参加された時の様子です。ぜひご覧下さい。



日帰りで里山の暮らしを体験していただく  
里山体験ツアーの受入れを始めてみませんか  
関心おありの方、観光協会までご連絡ください  
TEL 042-684-9503(平日 8:30-17:00 受付)



## 移住者を迎えるWelcomの姿勢、好評です！

移住・定住促進事業、提供できる物件が少ないという問題はありますが、移住希望者は多く、順調に展開されています。

藤野への移住を考えている方、実際に移住した方が共通しておっしゃることの一つに「藤野の人たちは移住しようとする人、移住してきた人にやさしい」といったことがあります。元々住んでいる方が移住者を必ずしも歓迎しないといった例はよく聞くことですが、その点藤野では移住者を「歓迎」するという雰囲気があるということでしょうか。移住者と元々住んでいる方とのコミュニケーションがうまく取れて、藤野がさらに楽しいまちになっていくといいですね。

藤野への移住を考えている人がたくさんいます！  
空き家、空き地の情報をおもちの方

ぜひ観光協会ご一報ください

TEL 042-684-9503(平日 8:30-17:00 受付)

